

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	平成29年7月1日より16年目に入り利用者の心身の状態に較差が出てきている。グループホーム本来の皆で一緒にの生活が難しくなっている	個別ケアの充実 理念である【自信と喜びを育てる】を実践 個々の持つ力を発揮しながら毎日を楽しむ	介護度1～3 趣味を活かした休息時間を充実させる 【編み物・カラオケ・将棋・新聞・絵画】 スタッフと一緒に食事作りや後片付けをやり毎日を遣り甲斐のある生活にする。 外に出る【担当者と話し合い本人の希望を取り入れて行く】	12ヶ月
2	1	平成29年7月1日より16年目に入り利用者の心身の状態に較差が出てきている。グループホーム本来の皆で一緒にの生活が難しくなっている	個別ケアの充実 理念である【自信と喜びを育てる】を実践 健康な体で毎日を元気でホームで過ごせる (入院しない体力作り)	介護度4～5 メニュー作り・食事形態・水分量・補助食品の検討 午前 午後の休息時間(短時間の就寝) 家族との重度化した場合の緊急時の対応を話し合っておく	12ヶ月
3	34	急変時の対応について職員が、どう対応しているかわからない部分がある。嘔吐処理の仕方 救急車要請時の対応、又災害発生時の対応の仕方など課題がある。	内部研修・外部研修で開催される勉強会には可能な限り参加しその場で終わらせることなく苑に持ち帰り実践・確認をする。	1回/月の内部研修や、外部研修に参加した職員は、研修内容を1回/月の各ユニット会議で確認し合う	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。